

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 松尾雄二郎
 HP <http://rc.nagoya.seinarl.org/>

2016-17年度RIテーマ
 会長 ジョンF.ジャム



承認 1995328
 会長 森田 正樹
 幹事 成田 勝彦
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋グレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinarl@fancyo.cnr.jp

森田正樹会長 年度目標 : ロータリーに学び、参加し、楽しもう

第 1033 回 例会	No. 33 平成29 年 4月6日 (木)
■ ローターソング	「君が代」「奉仕の理想」
■ 出席報告	会員47名中26名出席
■ 出席率	61.90% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	3月24日 95.45%
■ スピーカー	地区研修委員 鈴木文勝さん
■ ゲスト	名古屋中央RAC 幹事 深谷 元さん

会長挨拶 森田正樹

今日はロータリー研修委員の鈴木文勝さんから、ロータリーについて難しい話をさせていただいたので、一所懸命勉強していきたいと思えます。
 また、本日はわがクラブの第3回研修ミーティングもあります。今年度最終回ですのご参加ください。
 この機会に、ロータリーは何なのかと勉強する機会に、見つめなおす良い機会になると思えます。4月に入り、これから行事がしばらく続きます。春の家族会、岡山丸の内RCとの交友会、地区研修協議会などぜひともいろいろな行事に参加して友好と研鑽を深めていただきたいと思います。
 先回会長エレクトから、会長エレクト研修セミナーの報告がありましたが、少し気になったところがあります。ロータリーの友3月号のRI会長メッセージを読むと、「来期は変化の年にする。しかし反対する人もいる。なぜこの事に反対するのか。反対するというのはただ単に、変化することへの抵抗にすぎない。ロータリーが変化しなければならぬのは明白であり、継続性を求めれば、かなり急務である。」ということを書かれていました。
 そして最後に、「あなたは変化を起こす人になりますか。変化の犠牲者になりますか。」という一説がありました。まさに、我々がどちらについていくか。来期へ向けて大切な事になると思うので、今日はじっくりロータリーの先を考えるようにしていただきと思えます。



4月の祝福	
誕生日	結婚記念日
1日 川原さん	
5日 河原さんご夫人 森田さんご夫人	
7日 亀井さんご夫人 成田さんご夫人	高山さん
13日	安藤さん
15日	松尾さん
20日 林昌義さん	
21日	恵利さん
24日 岩田さん	
29日	若原さん

ニコBOX
<p>地区研修委員 鈴木文勝様 本日は卓話をさせていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。</p> <p>●本日は「ロータリー研修例会」です。講師に地区研修委員の鈴木文勝様をお迎えしました。鈴木様、ようこそお越し下さいました。会員一同歓迎申し上げます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>森田会長、成田幹事、小原、矢野、加藤、亀井、恵利、長谷川、中野、堀江、今村、上野、古川、宮崎、安藤、西川、渡邊、立石、河原、水野、後藤（敬称略）</p> <p>大塚さん 1月:大学病院にて両眼手術 2月:近くの眼科医、3月に眼鏡の処方箋 3月:共立病院 脳梗塞にて入院、早期発見にて現在自覚する後遺症なし。川原先生お世話になりました。有難うございました。ロータリーの皆さん、有難うございました。出来るだけ出席して頑張ります。よろしく。</p> <p>岩田さん 今月は私の誕生日です。お祝いを有難うございます。</p> <p>磯部さん 例会を続けて4回も欠席してしまいました。顔を忘れられないように皆さんお願いします。</p> <p>本日合計 56,000円</p>

RACフリーマーケットご協力のお願い

名古屋中央RAC幹事 深谷 元
 本日はこのような時間を作っていただき、ありがとうございます。皆様には日ごろから、ご支援ご協力をいただき、真にありがとうございます。
 私どもの4月第2例会29日の土曜日に行われます、フ

リーマーケットという例会について、皆様に物品の提供をお願いしたいと思ひまして、時間を作っていただきました。



昨年度、みなとロータリークラブの方から援助金をなるべく減らしたいというお願いがありまして、それに伴いまして、自分たちで活動費を稼ぐ努力をしてはどうかと言うご提案をいただきましたので、本年度、このような例会を企画しました。

それに伴いまして皆様には、ご家庭や事業所にある必要のない物品、できましたら、売れそうな物品のほうがありがたいですが、マーケットは一日だけです、その日に全て売りきる予定でいます。

送料は当クラブで負担しますし、ご連絡いただければ、引き取りにも伺います。よろしくお願ひします。

幹事報告 成田勝彦

1. 本日 18:30 より「第3回ロータリーミーティング」がごございますので該当の方はご出席お願ひ致します。会場はサヴァサヴァです。
2. 次週は「春の家族会」として 16 日の日曜日に例会変更となっておりますので宜しくお願ひ致します。また、20 日の例会は「岡山丸の内RC交流会」と重なりましたので休会です。お間違えのないようお願ひ致します。

講師 鈴木文勝様ご紹介

ロータリー研修委員長 矢野雄嗣

本日は地区研修委員会から、鈴木文勝さんにお越しいただきました。

小牧ロータリークラブに所属されています。会社は小牧市の、(株)美鈴工業の代表取締役をお勤めになっております。ロータリーの経歴は 1998 年入会、1997 年地区研究グループ委員会の委員。09 年から 10 年は委員長。2010 年から 13 年の間、地区職業研修チーム委員会委員長。2012 年から 2014 年度は 45 代 46 代の小牧ロータリークラブの会長をお勤めになられてます。2013 年から 16 年まで、地区ロータリー財団委員会委員長。2013 年から 17 年で、地区 WFF 実行委員会委員、2016 年から 17 年小牧 RC の会場監督、同じく、地区においては研修委員会の委員をされています。また、2016—17 年度の地区大会幹事もされていて、ロータリー財団功労者であり、メジャードナーであり、ポールハリスソサエティであり、マルチプルポールハリスフェローであり、ベネフェクターであり、米山功労者でもあります。ロータリーに対する、大

変な貢献をされている方だと伺っております。

来期は、東尾張分区ガバナー補佐を務められます。

本日はロータリー研修の講話ということで、どうぞ宜しくお願ひ致します。

卓話

「ロータリーの基本」

地区研修委員 鈴木文勝

みなさまこんにちは。

プロフィールを仰々しく出しましたが今日の話の流れとして、触れていかなければいかなあ、と思ひましたので、このような偉そうなプロフィールを出さして頂きました。

先ほど森田会長が、ロータリーは変化しなければいけない。変化のタイミングと仰ってみえました。今日の卓話の話も、正直非常に堅苦しい話、自分も全部知ってる訳ではないが、それゆえに自分も勉強するつもりで、今日のこの時間に挑みました。知ったかぶりに聞こえるかもしれませんが、一緒に勉強した一つの成果の発表だと思ひていただければありがたいです。



今日地区大会の記録誌をお配りしました。

地区大会の大会幹事をやりましたので、実務的な中心的な役割をしていました。

地区に9年いましたので、全部を知っているわけではありませんが、今回の幹事は割とやり易いなあと思ひながら、やりながら勉強ができたと思ひました。

記録誌の表紙は、例年は各ホストクラブの地域の写真が載ることが多いのですが、今回のホスト 小牧 RC は、PR パンフレットで MRJ の飛行機が載ってる写真を使いました。

MRJ は今非常に微妙ですが、何とか昨日の新聞に載ってましたね。それなりに、遅れつつも進んでいるなあと感じました。

記録紙の方は、その MRJ を載せるより「財団100周年」ということでもありましたので、その一場面を載せていただきました。例年とは違う表紙になったでしょうか。

記載内容はそんなに大きくは変わってませんが、後ろの方にロータリー財団の100周年記念事業という形で、特別ページが載せてあります。

国際ロータリーは3年に一回、規定審議会が開催されます。昨年2016年の4月、アメリカのシカゴで開催されま

した。世界の各地から約523名、代表議員の皆さんが出席され、ロータリーのこれからのルールだとか、活性化のためにどんなことをしていったらいいか、案件を議論したり、決議したりしました。当地区は名古屋大須ロータリークラブの岡部快圓パスガバナーが、代表議員として出席しました。

その中で、国際ロータリーの定款・細則、あるいは、クラブの定款が変更されたり、追加をされたりします。

ご承知のように、国際ロータリーの定款とか細則、或はロータリークラブの定款というのは、我々が勝手に変更はできません。

ロータリークラブが変更でき、独自のものを作れるのは、細則です。内規と言うものもあります。そういうものはロータリークラブで作ることはできますが、それ以外は国際ロータリークラブの定款とか、細則関係は決められたとおりに運用していくことになります。この規定審議会というのは、時代の変化に対応するために、ロータリークラブの活性化を図ろうということで、例会開催の独自性や会員資格の柔軟性など、各クラブに柔軟性を持たせる案件が採択されてまきました。昨年の4月の規定審議会は、さらに大きく変わってきています。そういう、各クラブの裁量件の幅を広く持たせることによって、それぞれのクラブの独自性を発揮してもらおう、柔軟性を発揮してもらおう、それによって、クラブの活性化を図ろう、とこういうことが、昨年の規定審議会で決められたわけです。

一方で、丸の内ロータリークラブさんでも、最近大きく変わったんじゃないか、色んな事が緩くなったなあとか、ライオンズとあまり変わらないのではないかとか、いう風に思われる方もみえるのではないのでしょうか。具体的には、月に2回の例会とか、特に、ロータリーは職業分類が特徴だと言われていたのに、そういう違いがはっきりしなくなりました。

こういうところは、昨年の審議会で決められた影響が出ていると思います。

最新の国際ロータリー定款では、第2節「クラブの構成」で「ロータリークラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上及び、地域社会でよい評判を受けており、地域社会及び世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されたものとする」と規定されています。

この会員資格条件は最新のものですが、この前の3年前のクラブ定款も若干文章違いますけど、ほぼ一緒です。ところが、国際ロータリーの定款、これを見ますと第5条の「会員」の第2節「クラブの構成」で、1から6まで一般に認められた有益な事業や専門職の所有者、共同経営者、パートナー、法人役員、支配人いずれかであるとか云々、ということが書いてあります。

いわゆる会員身分の規定が結構きっちりしてたんですね。しかし、2016年の4月の規定審議会でこれが全部削除されました。先ほどの冒頭の「善良な云々」あれだけが残った。それを見て、家庭の主婦でも、無職の人でも、奉仕の精神があればロータリアンになることができると言うような話が出てきました。確かにその通りですが、そこが大きく変わったと言うことをまず、お知らせしたい。

脱線しますが、国際ロータリーの定款・細則どれを優先するかと言うと、上からしたのこの通りの優先順位です。ただし、職業の身分の規定は削除されましたが、一方で、最新クラブ定款第11条の「一般規定」。主な活動各会員はその事業専門職または社会奉仕の種類によって分類される。職業分類は云々、という表現が残っているんです。クラブ定款に。なおかつ、「制限」。5名またはそれ以上の正会員が居る職業分類からは、正会員を選出してはならない。これも最新のクラブ定款なんですけど、残ってます。ということで、職業が関係なくても入れるいうのに、ここが残っているというのはどういうことなんだろう、と私も疑問に思いました。日本事務局にも確認しました。職業の身分はだいぶ緩和されましたが、職業分類は残っていると言うことは、こういうもので運用していただいても結構ですという話なんですね。よくわからない話なんです。

これは規定審議会の中でも、多分色々議論があったり、反対意見があったり、ここまで残すのはいかがなものかというところがあったのではないかと思います。例会の開催も2回にするのではなくて、2回でもいいと言う話なんです。

ですから、クラブは少なくとも月に最低2回は例会を開催し、その例会の在り方はどういう形でもよい。という曖昧な状態です。最近の情報ですが、ジョン・ヒューゴ事務総長の書簡がありまして、「この2016年の規定審議会で、クラブ運営に大きな柔軟性が向けられた。特に例会の頻度、場所、会員の種類、こういうものに大きな柔軟性が。なぜ変更が必要なのか。一部の国や地域でのロータリーが急速に成長している一方で、会員数の減少や高齢化問題に直面している国地域がある。」

色々な試験的なプログラムを過去にやったことによって、クラブの活性化ができた。そういったところから出てきた結果が、大きく変更された内容ではないかと。

国も違えば、国内の事情も違います。日本でも北海道と東北、中部あるいは大阪、九州、それぞれ地域によって違います。ですから規定審議会の決定はロータリークラブの定款の現行の規定に変更を加えるものではありませんということで、極端なことを言いますと、それぞれのクラブで、最低限の国際ロータリーの定款を大きく外れるものはいけません、それぞれのクラブで、独自性をもって、運営をしてください。と、そういうことなんですね。貴クラブから講演の依頼を受けた時に、ロータリーの理念に対する認識が弱まっているのではないかと、このままでは名古屋丸の内RCが、全会員一致してロータリー活動することが難しくなるのではないかとという危機感をもっている、という言うお話をいただきました。そういう心配をされているクラブは結構あるかもしれません。先輩諸氏のみなさんが、こういう心配をされているということは、大変すばらしいことではないでしょうか。矢野さんからクラブ計画書をおかりしました。1995年に設立して22年、会員数47名、女性会員が6名。平均年齢も他のクラブよりちょっと若いくらいではないでしょうか。

大変すばらしいクラブだと思います。私は、財団に居る期間が長かったです。こちらのクラブでも、故岡田守功さ

んにGSEのチームリーダーとしてフランスに行っていた
 いただきました。藤田守彦さんは財団の副委員長を務められ
 ました。西川 博さんにはGSE、VTTの委員会メンバー
 として、長く活躍いただきました。大変ご縁のあるクラ
 ブです。歴代では、岡田守功さん、川原弘久さんがガバ
 ナー補佐をされています。このクラブは大変すばらしい。
 地域の活動を障害者就労支援、被災地義援金、国際活
 動ではカンボジア支援事業を継続してやって見える。
 同好会もいくつかありますね。大変バランスの取れたク
 ラブだと思います。

我が小牧RCは今34名ですから少ないですし、思うよう
 な奉仕活動が出来なくて苦しんでるのですが、そういう
 面から見ると大変羨ましいです。



ロータリーの理念認識が弱くなっているという話がありま
 したが、ロータリーの基本理念は、「4つのテスト」「ロー
 タリーの目的」「国際ロータリーの使命」と、「ロータリー財
 団の使命」、そして「中核的価値観」、この5つが、ロータ
 リーの基本理念と言われております。中核的価値観とは
 「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」、これが
 5つの価値観で、中核的価値観の中で「奉仕」は、ロータ
 リーが人々に与えられる技術の行動や言動であり、待つ
 てる人に背を向けずできるだけの事をして、人を笑顔に
 すること。フェロシップというのは、親睦、お酒を飲ん
 だり食事したり、どこか遊びに行ったりとか、これも親睦
 の一つではありますが、ロータリーで言う親睦とは、少し
 違います。

フェローは、同じ目的を共有しともに協同する仲間、シッ
 プは仲間との関係を維持すること。
 これがロータリーの言う親睦です。

理念を強化をするとして、強化はどうしたらできるか。私
 がこのような卓話をして、これで強くなるわけではなく
 て、私にできるのは、皆さんに少しでも理解をしていただ
 けるように、お話をさせて頂くのと、少しでも気付きを得
 ていただければという事です。

私は入会して19年いますけど、その前は青年会議所に
 いました。

やはり最初の7年くらいは訳がわからずに、例会に行っ
 て食事してただけでした。仕事も忙しかったです。そ
 れからしばらく後、小牧RCはその頃大きな事業をいくつ
 かやっています、その事業の責任ある仕事、役割をま
 かされました。それをやるようになってから、少しずつロ
 ータリーに対する意欲だったり気持ちがあだだん芽生え

てきました。

「ロータリーの目的」は、4つの項目です。これをやって
 るうちに、何かひとつずつできてくる。こういうものを積
 み上げていくことが、大切なことだと思います。

ロータリーは、大きな変化点に来ている。昨年11月に
 地区大会がありその3週間後にロータリー研究会があり、
 全国のロータリアンの中心的人たちが名古屋に集まり、
 この会で、今大きな変革が来ているという意見が盛んに
 出ていました。しかし、理念とか目的は変わっていないの
 です。世界中ではロータリアンは増えています。増えて
 いるのは発展途上国のロータリアンが増えているからで
 す。日本はじめ先進国のロータリアンは逆に減っていま
 す。アメリカもそう。なぜかと考えるに、勝手な思いです
 が、発展途上国の方が受益者の得る期待感を共感でき、
 一方先進国の方は奉仕することに対しての疲弊感、いつ
 までお金出すんだ、みたいなそんな気持ちがあるので
 ないでしょうか。

そうはいっても、富める人たちがしっかり、困っている人
 たちに手を差し伸べるのは大切な事です。この調和の奉
 仕が大変重要になる。奉仕することに喜びを感じるロー
 タリアンが増えることは重要な事です。クラブの柔軟性
 がもたらせたことによって、クラブの裁量権の増加と独
 自性がもたらされると話しましたが、次年度のガバナー
 によると、ガバナー賞を得る前提条件として、クラブ戦略
 計画委員会を設置して欲しいと求められています。10年
 後も20年後も地区の輝きが、持続可能であること。そし
 て、その実現のためには各クラブが輝いていることが大
 変重要である。クラブの中期計画作成のため、戦略委員
 会の設置をぜひしてほしい。奉仕を通じて、活動に楽し
 みを見出そう。このように、会長エレクト研修セミナーで
 お話されました。

戦略委員会があるのが82クラブ中、2つだけです。ぜひ
 作ってください。

ありがとうございました。

第10回 理事会議事録

平成 29 年4月6日(木) 12:00~

名古屋クレストンホテル 例会場

出席者 森田、岩田、田島、亀井、上野、恵利、立石、安
 藤、川原、磯部、成田、武山

議題

1. 病氣見舞いの件 承認
 大塚嘉彦さん 2万円
2. 岡山丸の内RC交流会の件 承認
 親睦活動補助費、お土産
3. その他
 「日本のロータリー100周年委員会運営協力金」
 @200円×47名
 「名古屋聾学校 電気窯寄付 見積決定」
 4月中に設置完成(社会奉仕/市内RC補助金利用)

例会のご案内

◎4月16日(日)第1034回例会 例会変更「春の家族旅行会」

なんばグランド花月 8:15~ 栄出発

◎4月20日(木) 休会